

平成30年度事業報告

1. 事業概要

現在の日本社会環境は、人口減少等により労働力不足が一層強まり、地域社会を支える担い手不足が問題となっています。そんな中、企業では労働者を確保することが困難な状況の中で、定年延長や継続雇用制度の導入を図り人材を確保している状況となっています。これからは、高齢者が生涯現役で働き続けるという社会環境は、もはや共通認識であり、全国的にこの人手不足解消が喫緊の課題であり、外国人や高年齢労働者の受入れ拡大は必要不可欠な状況であることから、シルバー人材センターにおいても就業機会の拡大が図れるものと思われま

す。しかし、高齢者の中には働くことに意欲的な方がいる一方で、経済的余裕から働く必要がなく、引退後は趣味や習い事に時間をあてるといった理由から、必ずしも働くことに意欲的でない方も多くなっているのではと感じています。

このことから、会員数の拡大に向け、会員・役職員による一人一会員獲得運動を随時展開させているものの、思惑どおりの人数増強には至りませんでした。

このように、シルバー人材センターの根幹である会員数が一向に増えない状況が続き、拡大に向けた取組みは今のところ成果は出ていませんが、会員数拡大については、今後も引き続き最重要課題として取り組んでまいります。

そんな中でも、会員の地域貢献への意識は高く、高齢者の優れた知識と培われた経験を生かし地域社会へ提供することで、シルバー人材センターの信頼確保にも繋がっているものと思われま

す。また、これが会員自身の生きがいの充実にも繋がり、活力ある地域社会づくりに貢献出来ているものと自負しており、今後も生涯現役社会の実現に向け邁進してまいります。

2. 就業機会提供事業及び就業機会確保事業

臨時的かつ短期的な仕事又はその他の軽易な仕事を一般家庭、民間企業、官公庁等から請負、委任により引き受け、会員の希望、知識、経験等を考慮したうえで就業機会の提供を行いました。

その結果、受託事業実績では前年度対比8%増の約470万円の増額となりました。

(1) 安全・適正対策推進事業

安全対策については、事故撲滅を第一目標に掲げ日夜取り組んでまいりましたが、傷害事故3件、物損事故4件が発生しました。これについて、安全

委員会で事故発生状況の確認や原因究明に取り組み、次年度では事故ゼロを目指すため会員へ情報の提供や注意喚起に努めました。

適正就業対策については、適正就業に努めると共に、不適正な就業の根絶に取り組みました。また、公平を図るため、グループ就業やローテーション就業に努め公平化を図りました。

(2) 普及啓発事業

普及啓発に欠かせない、春の東公園さくら祭り前の清掃ボランティアと、「シルバーの日」として10月16日に秋のボランティア活動を実施しました。また、両日とも多くの会員の参加により、地域へ日頃の感謝を伝えると同時にシルバー人材センター事業の周知・PRに大いに役立ったものと思われます。

また、秋には「黒石りんごまつり」へ参加し、会場内にブースを設け訪れた人により興味を持ってもらうため日頃の就業写真や活動内容などを掲し、シルバー人材センター事業について広く普及啓発に努めました。

(3) 就業開拓提供事業

就業機会の拡大を図るための就業希望調査を実施し、会員の希望や知識、経験に沿った就業提供に努めました。また、就業開拓について就業希望会員に余裕がある職種については広告掲載によりPRに努め拡大を図りました。

3. 就業機会提供のための独自事業

軽度生活援助事業や高齢者世帯等除雪サービス事業と並行して、家事援助サービスを基本とした、清掃や炊事、買物代行等を一般家庭から引き受け、家事・介護班が中心となり、高齢者世帯を中心とした地域の弱者に寄り添う事業を展開させました。

その結果、利用者からは「感謝と信頼」を頂き、それにより会員自身が「生きがいとやりがい」を持ち、一層活発に事業を展開させました。

このことから、地域に根ざした事業展開を継続させ「安心・安全・信頼」に努めることで、就業機会と会員数拡大にも繋がるものと思っております。